

笑顔が未来に広がる緑

令和5年度は、「松伏町第5次総合計振興計画」の最終年度となっている。令和5年度決算は、歳入総額106億2,418万円、歳出総額98億9,800万円、歳入歳出差引残高7億2,618万円、実質収支額は6億1,507万円となった。

主な実施事業

子育て支援関連

- 応援ギフト事業 誕生した子ども1人当たり1万円分の子育て用品ギフト
- 松伏小学校に、発達障がい・情緒障がい通級指導教室を設置
- ふるさと納税を活用して、中央公民館、多世代交流学習館、小学校3校、中学校2校それぞれ50万円ずつ教育活動応援備品の購入
- 企業版ふるさと納税を活用して、中学2校に楽器を購入 502万円（写真1、写真2）



福祉・健康・社会保障関連

- 高齢者福祉タクシー券の利用限度を増額
- 防災情報通知システム
(利用者令和4年度39件→令和5年度102件)

生活基盤整備関連

- 街灯や庁舎内のLED化

産業振興関連

- 物価高騰対策……町民への応援商品券事業、町内の福祉施設・公共交通事業者等への支援
- ふるさと納税寄附金
(前年度比1,163万2,000円の増)



行財政運営関連

- 公共交通活性化協議会の立ち上げ

生活環境関連

- 避難所の開設訓練 128万7千円（写真3）
- 自転車乗車用ヘルメット購入費補助
(令和5年10月から192件の申請)
- 都市公園園内灯のLED化



あふれるみんなのまち

令和5年度 歳出合計98億9,800万535円

議員からの意見や課題

- 経常収支比率 86% (2.9%増) 財政力が硬直化している。
70%～80%が適正と言われており、企業誘致により税収の確保などの一般財源を確保することを進め、各事業の経常経費等の削減を図っていきながら改善。
- 高齢者福祉タクシー券…利用率が低下。1乗車につき複数枚利用の検討。
- 結婚新生活支援事業…再婚も対象になることや、年度をまたいでの支給など、一層の周知。
- スポーツ推進奨励金…全国大会出場だけでなく対象の拡大。
- 将来目標人口の大幅な未達などの要因の分析
- 生活道路や排水路の整備不足
- 都市公園の雑草除去など維持管理不足
- 日本語指導員、JAETの報償費の見直し

賛成討論

前第5次総合振興計画の未達の要因をしっかりと分析され、第6次の基本計画を具体的なタスクに落とし込むことを願う。公共交通活性化協議会は、住民のニーズを的確に捉え、必要かつ有効な対応策をスピード感をもち実効をあげていただきたい。

賛成討論

町税の徴収率、現年課税分は平成30年度以降99%以上の高水準を維持している点を高く評価する。まちづくり基金は将来に向けた重要な基金だと確認できた。持続可能な発展に向けた財政基盤の強化と町民生活の向上に直結する施策が着実に実施されている。

賛成討論

国の補助金や自主防災組織等活性化推進事業委託金、県の防犯環境整備推進補助金などを活用したことを評価する。国の地方創生臨時交付金を活用し多くの事業を実施した。財政の平準化や圧縮を図り、各種基金についても適切に積み立てられ運用されたと評価する。

反対討論

いろいろな要望を出しても、お金がないと先送りされてしまう。しかし決算をみると町税は増収になっている。身近な生活道路や排水路に関する要望、子育て支援の充実や教育の充実について、さらに積極的な事業展開を求める。